



TOP > Friends : 友達

Friends : 友達

Friendsには、ジャンルを問わず宮島永太良の友人知人が登場！
毎回、親しい視線と言葉で宮島の実像に迫ります。

最初の登場は、ボサノヴァシンガーの菊丘ひろみさん♪

◎菊丘ひろみさんプロフィール

福岡県福岡市出身。8月6日生まれ、A型。
10歳からクラシックバレエ、生田流琴を習う。
15歳から声楽を学び、主にイタリア歌曲を歌う。
音楽大学卒業後上京。ボーカリストとして活動するかたわら
長身を活かし、スチールモデルとしても活躍。
その頃、ブラジル音楽のボサノヴァと運命的な出会い、本場
ブラジルへも渡航、現地ミュージシャンとのセッションも経験。
1996年からポルトガル語で歌うボーカリストとしてコンサート、
ライブハウス、CMソングなど多方面で活躍。
2002年ソニー・ジャパン・インターナショナルから、アルバム
「リンダ・フロール」でメジャーデビュー。
2003年2ndアルバム「キ・ボン」をリリース。
以後、ソニー・コンピレーションアルバム「イマージュ」
「BOSSA NOVA TIME」などに多数参加。
現在は日本語、ポルトガル語での作詞と作曲も手がけ、ライ
ブを中心に活動。
独特の『ひろみボイス』は聴衆を安らぎの世界へ誘う♪



CDジャケットをCLICK! ▼



♥イマージュ～サウダージ ボッサシリーズ
(Sony Music Japan International Inc.)

♥キ・ボン
(Sony Music Japan International Inc.)

♥リンダ・フロール
(Sony Music Japan International Inc.)

♪ ソニーミュージック オフィシャルサイト
で試聴出来ます。
<http://www.sonymusic.co.jp/>

▲ Page Top

◎菊丘ひろみさんへのインタビュー Q&A

Q:何時、宮島永太良さんと出会いましたか？

A:確か、2003年頃です。あのタモリさんも関係している新宿のライブハウス「JAZZ SPOT J」でした。
うる覚えですが、宮島さんの個展が「J」で開催中に私のライブがあり、オーナーの幸田稔さんに紹介されました。



Q:第一印象は？

A:『少年の心を持った人』だと思いました。

Q:どこから、そう感じました？

A:個展開催中の初対面だったので作品も見られ、私は絵には詳しくないけれど、どこかピカソを彷彿させる題材。浮いているイメージの抽象画から、大人にはないピュアな心を感じたからです。



Q:それ以後のお付き合いは？

A:以前からボサノヴァ好きの宮島さんがライブへ来てくれたり、私が個展へ伺ったりして、そうしてお会いするのがほとんどです。

Q:そのときの話題は？

A:いつも笑いを交えた他愛もない話です。個展会場では、『この絵はボサノヴァのスタンダード“デサフィナード”からイメージを得て制作』、『あの作品の制作動機は…』とか、展示作品のお話。ライブでは『今夜は、3曲目が…』と、どうしてもお互いの表現が話題になります。ただ、たまに歌いながら宮島さんを何気なく見ると、歌のイメージと出会い、それを心底楽しんでいる様子が窺え、『ああっ、やっぱりアーティスト！』と妙に納得することがありますね。

Q:何か思い出があれば…

A:数年前に宮島さんの個展「花まつり」の会場、当時は渋谷の代官山にあった「Jトリップアートギャラリー」で、生バンドをバックに30分のライブを2回行いました。宮島作品と私のコラボレーションでしたが、違和感なく自然に歌

えたのがとても印象的でした。それから、絵と歌、ふたりの分野は違いますが、作るときの葛藤はどこか似通っていると思います。だから、作詞をするのに詰まったとき、宮島さんの文章をコピーしてもらったこともあります。文章も好きです♪



Q:お付き合いを重ねて宮島さんのイメージに変化はありましたか？

A:ベースは変わりませんが、私と似ているところがあると気付きました。

Q:どのあたりですか？

A:まず、ふたりとも表現行為に身を委ねていること。そして、外見はゆったりノンビリして見えるけれど、実は内面にフツフツと熱い思いを抱き、独自ワールドを持っていること。更にお笑い好きで芸人ボサを持っている点かな、私のMC面白いみたいです(笑)。



Q:その菊丘さんから見て、一言で宮島永太良さんを表現すると？

A:芝居がとてうまい役者さん。独特の世界観を醸し出しつつ、演出家のオーダー次第で激しい役、優しい役、色んな役柄を演じられる役者さんのイメージがあります。そこが捕らえ所がなく魅力的で刺激を受けますね。

Q:将来のことをお聞かせください！

A:私が作詞作曲した『グロリア』と言う作品があります。これは、キューバ出身の人気シンガー、マイアミ・サウンド・マシーンのグロリア・エステファンをイメージして作りましたが、宮島さんをはじめ多くの方が気に入ってくれています。この曲を宮島作品のジャケットでCD化したい。また、宮島さんの絵からイメージした曲も作ってみたい。そして、私の大きな夢は、欲張りかもしれないけれど、自作の曲がいつの日か広く世の中に受け入れられることです。それが出来たら、本望です♪

Q:最後に宮島さんに一言お願いします。

A:国内では活躍されていますが、今春の上海美術館からスタートして日本を代表する画家になっていただけたら、とても嬉しいです。また、お会いして楽しい時間を共有しましょう(笑)。

今日はありがとうございました。

■ [菊丘ひろみさんのウェブ・サイト](#) >>>



▲ Page Top

by Sekikobo